

平成28年12月1日 5時間目  
場 所 2年教室  
指導者 担任 司書教諭 学校司書

1. 単元名 くらべて分かったことを書こう  
(教材文「同じところ、ちがうところ」東京書籍 2年下)

2. 単元の見込み

- 身近にある二つのものを比べて、同じところと違うところを見つけて文章に書くことに関心をもち、進んで取り組むことができる。(国語への関心・意欲・態度)
- 同じところと違うところが分かりやすいように、内容のまとまりごとに分け、説明する順序を考えることができる。(書くこと B(1)イ)
- 比べて表現する言葉を使い、語と語や文と文との続き方に気をつけながら、同じところと違うところについて説明する文章を書くことができる。(書くこと B(1)ウ)
- 主語と述語に気をつけて文章を書くことができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1)イ(カ))

3. 本単元でつきたい情報活用能力

- Ⅲ 情報の整理・まとめ：分かったことや気づいたことの書き方。(シ)  
(分かったことを表に整理して書く力や表を活用して文章を書く力)

4. 単元で大切にしたいこと

本単元でつきたい力は、情報を読み取る力や読み取った情報を活用して文章を書く力である。そこで、本単元では、「二つの食べ物を比べてクイズを作り、1年生と『何をくらべたでしょう』クイズ大会をしよう!」を言語活動として設定した。クイズを作るという活動は、児童の興味関心を引く活動であると共に、1年生に正答してもらうためには、分かりやすい観点で比べることが必要となってくる。クイズを作るという目的のもと、二つの食べ物について観点を決めて比べ、表にまとめる学習や、その表をもとに文章を書く学習は、本単元の目標を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

5. 単元設定の理由

- (1) 児童について  
(省略)

- (2) 教材および単元構想について

本単元は「書くこと」の「情報整理・資料活用」の系統として位置づけられている。写真などのテキストから情報を読み取る力や読み取った情報を活用して文章を書く力を身につけることをねらいとしている。同時に、「自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」(学習指導要領B書く(1)イ)もつきたい力である。

教材文は、身近にある二つの物を比較して、同じところと違うところを見つけ、読み手に伝わるようにそれぞれを整理して文章を書くことができるように設定されている。二つの物を比べて、内容を分かりやすく伝えるためには、観点を決めて客観的に比べること、同じところと違うところを分けて書くことが大切である。観点ごとに比較して分かったことを表にまとめることで、共通点と相違点が明確になり、整理して文章を書くことができると考える。

導入で実物を見せたりクイズをしたりすることで、児童に二つの物を比べてみたいという意識を持たせたい。同時に、1年生にクイズを出題することを伝え、相手意識をもたせたい。二つの物を比べる際には、比べる観点を決めることで、ものに対する見方が広がったり、認

識が深まったりするということを感じさせたい。今回は、児童の実態も考慮して、比べるものは食べ物から二つ選ぶことにする。教室に食べ物の本を置き、手に取れるようにすることで、児童が二つの物を選ぶヒントとしたり、食べ物の特徴を知る手助けとしたりしたい。

### (3) 指導について

指導に当たっては、次の点に留意する。

◎ クイズ（ゴールイメージ）や実物を提示し、学習への意欲を持たせる。（研究内容②イ）  
導入で、二つのものを比べ、同じところ、違うところに目をつけたクイズを児童に出し、クイズを作るというゴールイメージをもたせる。同時に出来上がったクイズは、1年生に出題することも伝え、相手意識ももたせる。答えと共に実物を提示し、二つのものを比べるときには、どんなところを比べるのか決めてから比べると分かりやすいという意識をもたせたい。児童の発言などから比べる観点としては様々なものがあることを取り上げるが、その中から、「大きさ」「色」「形」「食べ方」「手触り」「匂い」「味」「調理の仕方」など、1年生に分かりやすい観点で比べることも意識させていきたい。

◎ 情報を整理できるワークシートと、調べ学習を助ける図書資料の準備（研究内容②ウ）  
1時間目の学習後、「同じところ」と「違うところ」のある食べ物を二つ選ばせるようにする。その際のヒントになるように、「くらべてわかる食品図鑑」や「食べ物の絵本」など、いろいろな食べ物の本を教室に置き、児童の目に触れるようにする。内容は難しくても、絵や写真などから、似ていて比べられる食べ物のイメージを広げられるようにしたい。同時に、家庭でも似ている食べ物を聞いたり、実物を見たりして自分が比べたい食べ物のイメージが深まるようにしたい。

また、2時間目では、二つの食べ物を比べるためのワークシートを準備する。観点を決めて比べることができ、「同じところ」か「違うところ」かが分かりやすいワークシートを準備していきたい。

◎ 友達と考えを交流する場の設定（研究内容②カ）

本単元では、友達と考えを伝え合い、学びあう場を次の二つの場面で設定する。

① 観点を決めた比べ方が分かりやすいか、他の観点はどうか、ワークシートをもとに伝え合う。その際、伝え合いの視点「分かりやすいと思う比べるところ、比べ方」を示し、友達のワークシートを見て自分の考えを伝えられるようにしたい。

② できたクイズを読み合い、感想を伝え合う。

分かったことを文章に書いた後で、それをクイズにして出しあう。クイズが答えやすかったか、書いた文章は分かりやすかったか、比べるところはよかったかをワークシートで相互評価し、感想を伝え合いたい。

## 6. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・身近にある二つを比べて、分かったことを文章に書くことに関心をもち、進んで取り組もうとする。	・同じところと違うところが分かりやすいように、内容のまとまりごとに分け、説明する順序を考えて書いている。 ・比べて表現する言葉を使い、語と語や文と文との続き方に気をつけながら、同じところと違うところについて説明する文章を書いている。	主語と述語に気をつけて文章を書いている。

7. 指導と評価の計画 (全4時間)

時	主な学習活動(○)	評価規準	学校図書館の活用
1	<p>二つの食べものをくらべるほうほうを知ろう (学習の見通しをたてる)</p> <p>○二つの物の同じところや違うところを見つけ、それらを整理して文章を書き、クイズを作るというという学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。</p>	<p>・二つの物を比べ、特徴を整理して文章を書くことに進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関心】(発言・観察)</p>	<p>学校図書館の活用</p> <p>・資料となる本の選書・紹介 司書</p> <p>並行読書</p>
2 (本時)	<p>二つの食べものをくらべ、ひょうにまとめよう</p> <p>○例示を参考にしながら、二つの物の比べ方を理解する。</p> <p>○比べたい二つの物について視点を決め、比べた結果を表にまとめる。</p>	<p>・二つの物を比べて、同じところと違うところを見つけて特徴をつかみ、表に書いている。</p> <p>【書く】(発言・観察・ワークシート)</p> <p>・友だちのワークシートを見て、比べ方についてアドバイスをしている。【関心】(発言)</p>	<p>・ワークシート</p> <p>・司書教諭との連携</p>
3	<p>くらべて分かったことをせつめいする文しょうを書こう</p> <p>○表と文章を比べながら、表をもとにした文章の書き方を理解する。</p> <p>○比べた表をもとに、説明する文章を書く。</p>	<p>・二つの物を比べて見つけた同じところと違うところを整理してつながりのある文章を書いている。【書く】(文章, 観察)</p> <p>・主語と述語に注意して文章を書いている。【言語】(文章, 観察)</p>	
4	<p>クイズを出し合おう</p> <p>○1年生に出題する前に、2年生同士で書いた文章をもとにしたクイズを出し合い、二つの物を比べて、同じところと違うところを整理して、説明する文章を書くことができたか振り返る。</p>	<p>・書いた文章をもとにしたクイズを読み合い、感想を伝えあっている。【関心】(発言・観察)</p>	

○1年生とお楽しみ会をしよう (クイズ大会・おもちゃ作り) (生活)

8. 本時の学習（2／4時間）

(1)ねらい 二つの食べ物について、観点を決めてから比べ、分かったことを表にまとめることができる。

(2)展開

時間	学習活動	指導上の留意点（☆）と評価（◎）
0	1 前時の学習を振り返り、観点を決めて二つのものを比べることを確認する	☆前時に決めておいた二つのものについて、比べることを確認する。
3	2 本時の学習のめあてと方法を確認する	
	くらべるところをきめて、二つの食べものをくらべ、ひょうにまとめよう	
10	「色や形で比べられるね」 「においでもいいね」「味もある」「食べ方とか」「そのまま食べる、ゆでて食べるとか」 「さわった感じ」	☆比べる観点を決めてから比べることを確認する。 ☆児童が参考にできるように、前時に出た観点の例を黒板に貼り確認する。 ☆すぐに表を作り終えてしまった児童については、他の比べる観点を見つけるように声をかける。 ☆ 観点が思いつかない児童には、板書や友達のワークシートを参考にするように伝える。 ◎観点を決めてから、二つの物を比べることができたか。（ワークシート） ◎二つの物を比べ、同じところと違うところを見つけて特徴をつかみ、表に書くことができたか。（ワークシート）
30	3 完成した表を3人組で確かめる 「この比べるところ、分かりやすいね」 「この比べるところより、こっちの方が分かりやすいよ」 「こんな比べるところを使ってもいいんじゃない」 （チェック欄に 比べ方が分かりやすい◎ 分かる○ 分かりにくい△をつける）	◎友だちのワークシートを見て、比べ方についてのアドバイスができたか。（発言）
40	友だちの意見も参考に、比べたことを説明の文章に書くとき、どの観点で書くか決める。 （目安：同じところ三つ ちがうところ一つ）	
43	4 本時のめあてと学習を振り返り、次時の学習についての見通しをもつ。	次の時間には表をもとに説明する文章を書くことを伝える。

(3) 本時の評価

十分満足とされる児童の姿	おおむね満足とされる児童の姿	支援を要する児童への具体的な支援
二つの食べ物について友達や1年生に分かりやすい観点を決め、同じところ、違うところについて比べている。 友だちのワークシートについて比べ方が分かりやすいか考えてアドバイスしている。	二つの食べ物について観点を決め、同じところ、違うところについて比べている。 友だちのワークシートについて分かりやすさを考えてアドバイスしている。	・観点を決められない児童には、具体例も示しながら板書や友達の考えも参考にして決めるようにアドバイスする。 ・比べる観点が分かりにくい児童には、友達の意見も聞いてみるように伝える。

(4) 研究の視点

- ・ワークシートは、観点を決めて二つの物を比べるのに有効であったか。（研究内容②ウ）
- ・友達とワークシートを見せ合って、観点を比較したことは、自分の考えをまとめるのに有効であったか。（研究内容②カ）